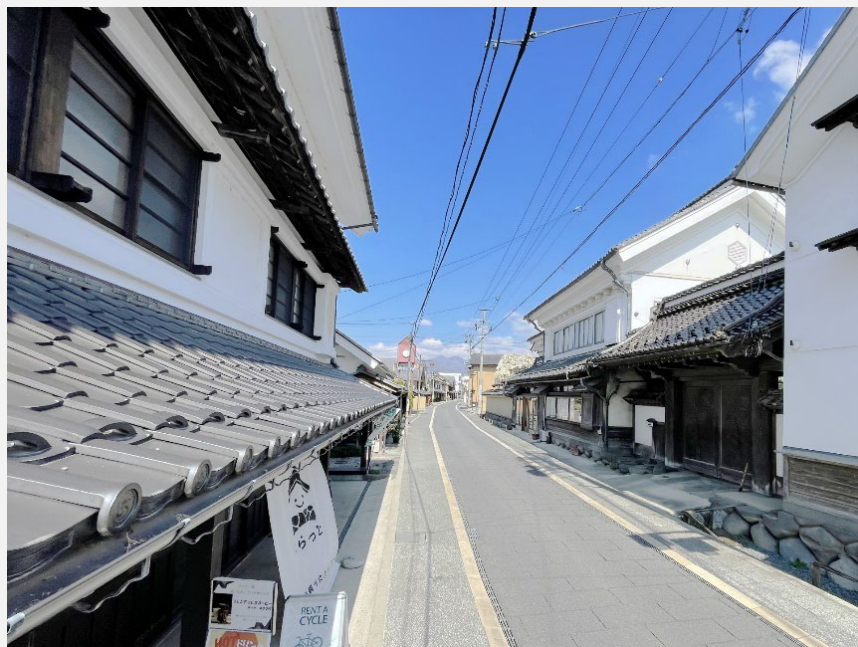


(1) 保存地区の概要

地 区 名	須坂市須坂
種 別	製糸町・商家町
面 積	約18.3ヘクタール
選定年月日	令和6年8月15日
特 徴	須坂市須坂は、近世から十字に交わる街道に沿って町場が形成されており、近代以降の製糸業の隆盛とともに商業地として栄えた。豪壮な土蔵造の商家は華やかな装飾が設けられ、当時の繁栄の気配を感じ取れる。また、長屋や土蔵、社寺などの建築物に加え、脇門やぼたもち石積みなど、多様な伝統的建造物群が一体となって良好な景観を形成している。



街道沿いに連なる豪壮な土蔵造の商家



上から、長屋、脇門、ぼたもち石積み

(2) 保存地区のあゆみ

昭和60年(1985)	須坂新聞にて『須高地方の民家と町並み』(絵と文)の連載開始(計100回)	平成18年(2006)	社会資本整備総合交付金を導入 (～平成27年(2015))
昭和61年(1986)	信州須坂町並みの会が結成	平成21年(2009)	蔵のまち観光交流センターが開館
昭和63年(1988)	観光資源調査(旧須坂町)を実施	平成24年(2012)	景観づくりの会が結成
平成元年(1989)	伝統的建造物群保存対策調査を実施		歴史的建造物登録制度及び歴史的建造物を活かしたまちづくり事業補助金を創設
平成5年(1993)	須坂市須坂地区歴史的景観保存対策事業を実施 (～平成21年(2009))	平成26年(2014)	旧小田切家住宅が開館
平成7年(1995)	須坂クラシック美術館が開館	平成30年(2018)	旧小田切家住宅が長野県宝に指定
	街なみ環境整備事業補助金を導入 (～平成21年(2009))		伝統的建造物群保存対策調査を実施 (～令和2年(2020))
平成10年(1998)	旧越家住宅が開館	令和4年(2022)	賑わい創出拠点 やまじゅうが開館
平成13年(2001)	須坂市ふれあい館 まゆぐらが開館	令和5年(2023)	須坂市須坂伝統的建造物群保存地区を決定
平成14年(2002)	須坂市ふれあい館 しらふじが開館 (令和3年(2021)～ 一棟貸宿 白藤)		須坂市須坂伝統的建造物群保存地区保存活用計画を告示
平成18年(2006)	蔵の町並みキャンパス事業が開始	令和6年(2024)	重要伝統的建造物群保存地区に選定



須坂市ふれあい館 まゆぐら



須坂クラシック美術館



蔵の町観光交流センター



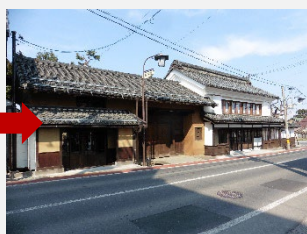
旧小田切家住宅

(3) 保存地区の保存と整備

- ・ 昭和60年から40年以上にわたる町並み保存の取り組み
- ・ 街なみ環境整備事業等による修理修景事業の実施(17年間で194件)
- ・ 歴史的建造物登録制度による登録及び補助事業による整備の実施(登録:52件、補助整備:13件)
- ・ 須坂地区の案内看板整備、特定物件表示プレートの製作・設置



修理前



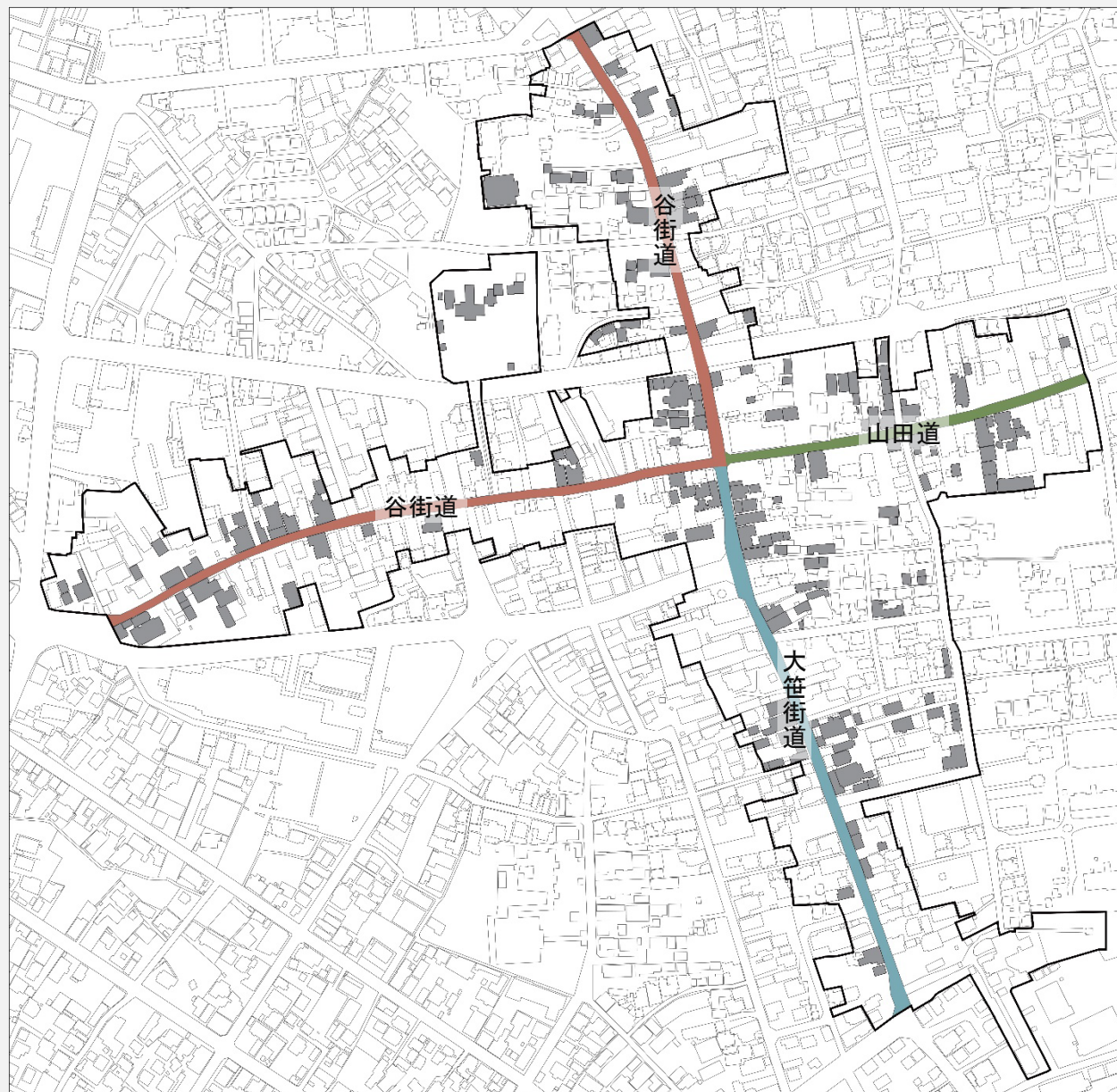
修理後



案内看板



特定物件表示プレート



須坂市須坂伝統的建造物群保存地区

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その1 蔵の町並みキャンパス事業

- “蔵の町「須坂」をキャンパスに”をメインテーマに、市民・市内企業・まちづくり団体・行政が連携し、学生の研究や学びの場として蔵の町並みキャンパス事業を実施。
- 伝建地区内では、伝統的建造物の再生や蔵の町を活かしたイベントの実施などを行う。
- 「街区の再生」や「民家の再生」など、伝統的な町並みや伝統的建造物の再生プランを考える授業を実施。
- 伝統的建造物を活用し、市内の和菓子店とのコラボ企画を実施。
- 公開施設のパンフレット案を作成。

(4) 保存地区の活用とまちづくり

その2 伝統的建造物の活用例

- 「賑わい創出拠点 やまじゅう」
旧製糸場の建築物を、チャレンジショップ兼イベントスペースとして活用。創業支援や空き家・空き店舗とのマッチング等も行う。
- 「一棟貸宿 白藤」
明治期に建てられた診療所をまちづくり活動や交流の拠点として活用していたが、さらに広く活用するため民間活用により一棟貸宿と文具雑貨店併設の施設として複合利用。



賑わい創出拠点 やまじゅう



一棟貸宿 白藤

(5) 住民等の取組

地元の声 (地元まちづくり団体 理事長)

「思いをつなぐ役割を期待」

町並み保存のきっかけとなり主体となったのは、1986年に結成された「信州須坂町並みの会」。父親も会のメンバーでした。子供の頃には勉強会や町を巡るイベントを開催していました。

重伝建地区選定は、こうした親の世代、さらに前の先人たちによって残されてきた建物や町並みを、次の世代に受け継いでいく手段です。修理などに国からの補助があることは大きな点ですが、「地域にとって大切なもの」という思いを共有し、つないでいくために役立つことを期待しています。地域の人が町の見どころを知っていて、案内できるような町になったら素敵ですね



街区の再生の様子



あんこイベントの様子



施設見学の様子



成果発表会の様子